

学生ボランティア支援グループ～ボララ～

ボララ (Volunteer Life) とは…

鹿児島大学ボランティア支援センターの学生ボランティアスタッフのことで、学生目線で、新規ボランティア参加者の支援と既存団体の支援を中心に、楽しく活動しています。

今までの活動

- ・月4回程度のミーティング
- ・ペットボトルキャップの回収
- ・アジア青少年芸術祭スタッフ
- ・キャンドルナイト(夏季)
- ・桜島清掃活動への参加

これからの活動

- ・ボランティア団体交流会の運営協力
- ・キャンドルナイト(冬季)
- ・学内清掃
- ・広報活動



スタッフ募集

私たちボランティア支援センター学生スタッフは、一緒に学生スタッフとして頑張ってくれる皆さんを募集しています。興味があるという方は、共通教育棟1号館1階にあるボランティア支援センターまで気軽にお越しください。経験も知識も何もありません、やる気だけあれば大丈夫です。

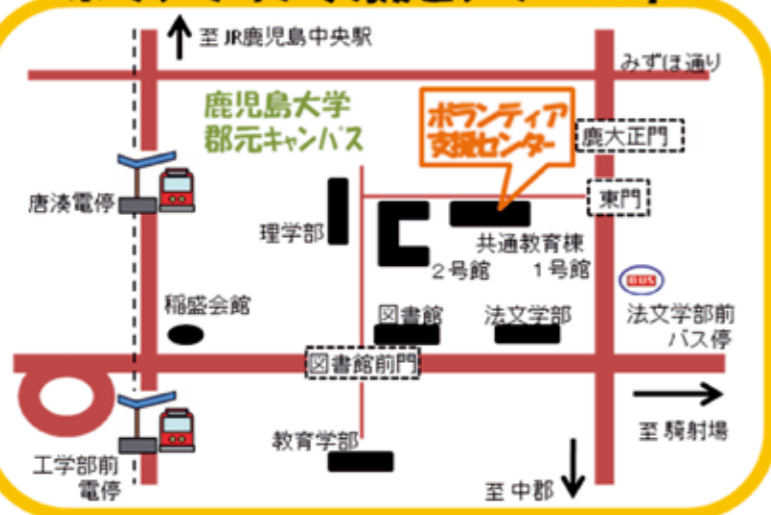
～身近なことから始めよう！！～

ボララでは、活動の一環として、**ペットボトルのキャップ**を集めています。なぜ集めているかというと、800個で1人分のポリオワクチンに換えることができるからです。分別して集めることによって、子供の命を救う手助けができます。大学内の各所に回収箱を設置していますので、身近なボランティアとして、ご協力をお願いします！

Newsletterは年2回発行し、毎月鹿児島大学のボランティアグループを紹介していきます！お楽しみに！！

ボランティア支援センターでは学生ボランティアの登録を随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

ボランティア支援センターMap



ボランティア支援センターHomePage



一部のボランティア情報と研修情報は、ボランティア支援センターのHPでも掲載しています。

<http://kss.kuas.kagoshima-u.ac.jp/gakusei/main/volunteer/index.html>

発行：鹿児島大学ボランティア支援センター
 連絡先：鹿児島市郡元1-21-30
 (郡元キャンパス共通教育棟1号館1階)
 TEL：099-285-3146 FAX：099-285-3144
 E-mail：volunt1@kuas.kagoshima-u.ac.jp

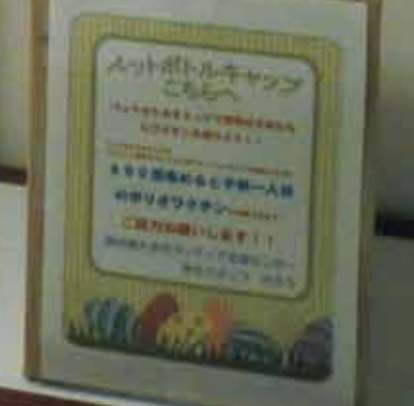
鹿児島大学

ボランティア支援センター
 Newsletter No.1



鹿児島大学
 ボランティア支援センター

- センター長、副センター長、スタッフからの挨拶
- センター報告
- ボランティアグループの紹介



ボランティア支援センター設立にあたって

阿部 美紀子（ボランティア支援センター長、教育担当理事）

鹿児島大学ボランティア支援センターの歩み

鹿児島大学では、2007年度に定めた「大学憲章」に謳われている、進取の気風あふれる学生の養成のために、従来のカリキュラムに加えて、学生時代から積極的に社会との関わりを持たせることが必要であると考え、学長の発声により「2008年をボランティア元年とする」と位置づけ、共通教育科目にボランティア授業科目の開講と、ボランティア支援センターの設置に至りました。2009年2月にはボランティア支援センター設立記念シンポジウムを開催、同じく4月に、共通教育棟1号館入り口近くに、専用の部屋を設け、学長自らにより看板が上掲されました。ちなみに、看板の墨書は初代センター長の中山右尚前教育・学生担当理事によるものです。2009年度、ボランティア支援センターは、センター長のもとに体制作りを行いました。現在、学生ボランティアの登録者数は277名、学内外からの多数のボランティア募集の広報の窓口としても稼働しています。創立3年目の2010年は、鹿児島大学ボランティア支援センターが、よりしっかりと根を下ろし、枝を広げ、一つ一つ、出来ることから取り組むことで学内外から認知されるセンターとなることを目指して参ります。

大坪 治彦（副センター長）

鹿児島大学の学生は、これまでも多様なボランティア活動を行ってきました。地域の子どもたちとの関わり、子どもたちを含め種々の障がい有者の方々への支援、エコ活動への取り組み、ウミガメをはじめとした県内の希少生物の保護活動など、一つ一つは一見地味だけれども学生ならではのボランティア活動として地域で暖かく受け入れられてきました。2009年に設立されたこのボランティア支援センターは、これまでのこの個々の活動を鹿児島大学として積極的に支えていくという大きな使命も持つこととなります。

ボランティア活動は大学のそして学生・教職員の地域貢献の一つのあり方ですが、こうした活動を通して学生たちは自らも大きく成長していることを実感しています。したがって、鹿児島大学としてこの「育み」を一人でも多くの学生の中に実現したいと考えています。一方では、授業科目の中にボランティア意識の涵養や具体的な支援技術の習得などを目的とした科目を新設し、一方では、いろいろな活動のチャンスとそれを待っている学生を有機的に結びつけるシステムの整備を急いでいます。そのためにも今後、学内外の活動ニーズの積極的な収集や受け入れを進めていきます。

鹿児島大学ボランティア支援センターを今後充実発展させるために、ボランティア支援センターのボランティア支援スタッフとしての学生グループ「ボララ」の皆さんとともに歩みを開始していきます。温かいご支援を期待しております。

佐原 麻菜（ボランティア支援センター職員）



5月からボランティア支援センターで働いている佐原麻菜です。私は、ボランティア未体験の学生・教職員や、やろうとする意志はあっても一歩踏み出せないでいる学生・教職員に、ボランティアを始めるきっかけとしてボランティア支援センターを積極的に利用していただくお手伝いをしています。学生生活課の職員の方々の協力をいただきながら、全力で頑張っていこうと思います。何かボランティアに関する質問や相談事等がありましたら、是非センターを訪ねてみてください。学生や教職員のボランティア登録も随時募集しています。ボランティア活動保険への加入（無料）も受け付けています。

ボランティア支援センターからの報告

◇2009年度

- ボランティア希望学生の登録を随時行い、170名の学生が登録を行った。（損害賠償責任保険加入済）
- 2009年1月には「ボランティア団体交流会」を開催し、11団体101人の参加者があった。またFD委員会と共催した「平成21年度学生・教職員ワークショップ」では、学生ボランティアスタッフが体験談について発表するとともに、12人の学生スタッフがグループワークに参加した。
- 2010年3月6日～7日、福岡市において開催された「全国ボランティアコーディネーター研究集会2010」に、大坪学長補佐（当時）及び学生スタッフ「ボララ」のメンバー3名が参加し、情報交換等を行った。
- ボランティア新規依頼件数は6月から3月にかけて121件であった。

◇2010年度

- 鹿児島大学ボランティア支援センターへのボランティア依頼件数
ボランティア支援センターへのボランティア募集新規依頼件数は4月から8月にかけて69件である。

a. 分野別依頼件数

2010年度4～8月分野別依頼件数

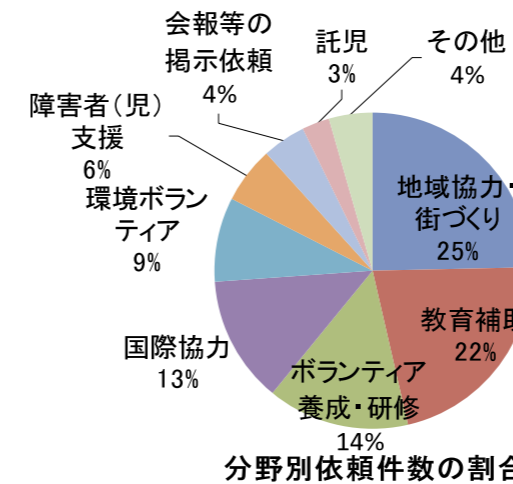
分野	件数
地域協力・街づくり	17
教育補助	15
ボランティア養成・研修	10
国際協力	9
環境ボランティア	6
障害者(児)支援	4
会報等の掲示依頼	3
託児	2
その他(助成金・コンテスト)	3
合計	69

b. 依頼団体

2010年度4～8月依頼団体内訳

団体	件数
法人	32
県市町村	16
社会福祉協議会	6
団体	6
民間	1
学内からの依頼	8
合計	69

※法人…特定非営利法人、財団法人など



- ボランティア支援センターを利用した実績 人数
 - 地域の防犯ボランティア（鹿児島県警察） 20
 - サマーボランティア体験（福祉施設訪問） 5
 - 国際支援ボランティア（DANKADANKA） 5
 - 障がい児スポーツ補助（ボランティアバンク） 5
 - 託児協力（鹿児島市親子のつどいの広場） 4
 - 教育補助（八重山高原星物語2010） 4
 - UCIサイクルサッカーワールドカップ補助スタッフ（鹿児島市教委） 3
 - 甲突川周辺清掃活動（まるごみ'10） 3
 - 音楽演奏ボランティア（小さな絆） 2
 - その他活動 25

など、合計 76人

※（ ）内は主催団体又はイベント名

- ボランティア支援センター利用状況について
ボランティア登録を行った学生数127名（2010年4月1日～8月31日）。2009年度からの登録更新数150名（卒業により20名登録解除）を含めると、277名。2010年8月末現在、ボランティア活動に携わった学生は、センターに活動報告があった分では76名である。